



希少種保全のためのノネコ対策事業費

平成29年度要求額
30百万円（20百万円）

背景・目的

近年、奄美大島・徳之島、やんばる地域、対馬、天売島等の島嶼部において、ノネコが国内希少野生動植物種であるアマミノクロウサギ、ヤンバルクイナ等を捕食する等により、深刻な被害を与えている。

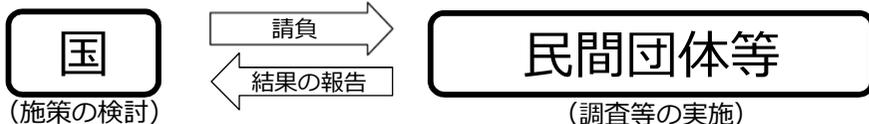
特に、世界自然遺産登録の準備を進めている奄美大島・徳之島においては、遺産価値を説明するために重要な種の存続を脅かしており、対策が急務となっている。

事業概要

- 対象地域 奄美大島、徳之島（世界自然遺産候補地）
※当面緊急的な対策が必要な上記2地域で実施し、平成31年度以降は沖縄県やんばる地域、対馬等でも実施予定
- 事業内容
 - ・ノネコの生息状況調査
 - ・ノネコ捕獲 等

事業目的・概要等

事業スキーム



期待される効果

国内希少野生動植物等の生息域からノネコを排除することにより、国内希少野生動植物種の個体数を回復

国内希少野生動植物種



アマミノクロウサギ



ヤンバルクイナ

ノネコによる捕食等



ノネコにくわえられたアマミノクロウサギ

該当する島嶼：
奄美大島・徳之島、等

希少種の生息に
重大な影響

事業内容



センサーカメラ



箱ワナ

イメージ

アマミノクロウサギ等の個体数回復